

2009年のベトナム経済と今後の投資展望

I. 2009年のベトナム経済状況

2007年の終わりから、世界財政システムが不振状態に陥り、ベトナム経済市場が大きく影響を受けることとなった。そのため、2009年は、ベトナム経済にとって非常に困難な年でもあり、経済体制の改革が必要とされた。現在、衰退した世界経済は輸出市場を収縮させ、金融市場、労働市場、またはベトナム経済成長に直接に影響を及ぼしている。

共産党のリーダーは、政府の指針と施策として、政府主導のもと、ベトナムの各省庁やその部門、地域、経済団体、製造業や各企業を取りまとめ、指導していくことを行った。その政府の施策が成功し、現在は経済衰退を食い止めただけでなく、経済成長の維持も見て取れる。統計局の発表によると、以下の面で、2009年時のベトナム経済状況を評価することができる。

1. 経済成長率

統計データでは、2008年末の経済衰退状況のまま、2009年第1四半期の国内総生産高の増加が3.14%にとどまり、近年では最低の成長の数字だった。しかし2009年の第2四半期、第3四半期、第4四半期は、GDP成長率が4.46%、6.04%、6.9%と徐々に増加した。合計で2009年の国内総生産高の増加率は5.32%にまで及んだ。サービス分野においては、過去最高の成長率である6.63%まで達することとなった。

農業

- 米：2008年は豊作で生産量が38.7億トンに達し、2007年時と比べて2.8億トンの増加、過去12年間では米の生産量は最高となった。2009年は、ベトナムの、特に高原や中南部の海岸部における台風や洪水の被害が大きかったのだが、年間の米の生産量が38.9億トン近く、2008年と比べ165.7千トン増加した。
- その他穀物：大豆、ピーナッツ、タピオカ、サトウキビなどの耕地面積と生産量が低く低迷することとなった。2008年と比較して、冬の台風や洪水のため、生産量が減少することとなった。
- 多年生植物の生産が大きく発展。生産コストを抑えるため、何年か前から多くの地方で今までのものと変えて、多年生植物の栽培を開始。高い品質の新苗を植えることを実施し、多年生植物による収入が他の植物から得る収入より高か

ったため、農地拡大を決定づけることとなった。特に 2009 年には、積極的かつ効果的に多くのプロジェクトを展開した。北部の山地にある県省（イエンバイ、ライチャウ、チェンビエン、ソンラ）では、ゴム木を新たに植えるプロジェクト、タイグイエンでは 320 ヘクタールの茶園を栽培するプロジェクト、高原やビンフウオクのエコロジー林業としてゴム木を植えるプロジェクト、またザライでのコショウ栽培の重要要素として、新苗と物質の設備投資プロジェクトが行われている。

- 高く増加している多年生植物の中では、若茶が約 798 万 8 千トン、2008 年と比較し 7%の増加。ゴムが 723 万 7 千トンで、9.7%の増加。コショウが 105 万 6 千トンで、7.2%の増加となっている。
- 畜産業の発展が続いており、特に大規模な畜産業が見られる。2009 年 7 月 1 日における畜産調査の結果によると、2008 年の間に畜産農家数が 18.5%増加している。また、まだ疫病が発生した地域があったが、狭い範囲によるもので、家畜の家禽数が 2008 年より増加した。

林業

2009 年は集中植林面積は約 21 万 2 千ヘクタール、2008 年と比べ、5.9%の増加。林業分野への投資増加により、植林、植林の保護がうまくなされ、材質や木造物の質も良く保たれている。また、地方の宣伝機関が村や集落で大幅な森林保護と火災防止の通告を行ったことによって、森林火災や破壊が抑制されることとなった。

水産業

2009 年の水産量は、4847.6 千トン、2008 年と比べて 5.3%増加している、そのうち、サカナ 3654.1 千トン、5.3%の増加、エビ 537.7 千トン、7.2%の増加。2009 年の養殖量が約 2569.9 千トンに達し、前年度比 4.2% 増加した。なまずの一種（Trafish）ブラックタイガー（Black Tiger）の養殖は非常に困難であり、コストや市場が安定していないこともあって、養殖地の面積が 2009 年には 10%以上減少した。これはアメリカと日本の二つの購買市場が低迷したことによる。

2009年の漁獲水産量は約2277.7千トン、前年と比べ6.6%の増加（最近の8年間で最高成長率）、海上漁獲2086.7千トン、7.2%増加した。海上漁獲量は多いのはイワシ、タチウオ、アンチョビ、マグロ、カツオのサカナなど多くの種類の魚が漁場に長期的に高密度で出現したことによる。同時に、新しく性能の高い漁船の購買、造船などの漁民に対する補助政策によって沖漁獲能力は増えた。

工業生産

製品輸出市場が縮小されたため工業は強い影響を受けた産業である。2009年全体の計算によると1994年の比較価格による工業生産価値は696.6兆ドンを概算して、2008年に比べると7.6%上がった。そのうち、国営経済区域3.7%、非国営経済区域9.9%、外国投資区域8.1%増加した。原油とガスが9.2%増加、他の産業は8%増加）。

年平均レートより高い成長率の主要製品は、エアコン41.8%増、液体化ガス39.3%増、冷凍冷蔵庫29.5%増、石鹼、洗濯洗剤20.2%増、セメント19.2%増、丸鋼19.1%増、生産電気11.9%増、タバコ10.5%増、精製石炭9.9%増、開発原油9.8%増、商業用水9.7%増、人造レザー靴、サンダル9.6%増、ビールは8.5%増加した。

年平均レートより達成度が上がった省や市は、クアンニン15.8%増、タインホア13.9%増、ドンナイが10.6%増、ビンズオン10.3%増、カインホア10%増、ハノイ9.4%増、カントー9.1%増、ダナン8.3%増、ホーチミン市7.9%増、ハイフォン7.7%増。また、低い成長率の省はハイズオン6.2%増、フートー5.3%増、ビンフック5%増、バリアブントウ3.1%増。

サービス業

商品の小売と消費サービスの売り上げ

国内生産が回復して、製品とサービスの価格が相対的に安定していて、多数の企業が国内市場開発を強化したので年間の実際価格による商品の小売と消費サービスの売り上げの総額は1197.5兆ドンを達し、18.6%増加。もし価格要素を除外すれば、増加の程度が2008年に比べると11%となる。

2009年の製品小売と消費サービス営業の売り上げのうち、個人エリアは663.2兆ドンを達し、20.3%増加、民間エリア：374.9兆ドン、22.9%増加、国営エリア：31.3兆ドン、9.5%増加、集団エリア：11.8兆ドン、18.8%増加、ホテルとレストラン：135兆ドン、18.4%増加、サービス：111.6兆ドン、20.3%、観光：11.3兆ドン、1.9%増加。

客輸送と荷物輸送

2009年の客輸送は約1989.1 Million回。乗客（turn-passenger）、8.2%増加、86.8 Billion回。乗客。Km（turn-passenger.km）、2008年と比較して6.2%増加した。道路客輸送は1798.8 Million回－乗客、8.6%増加、62.6 Billion回－乗客。Km、2008年と比較して9.3%増加；川河客輸送は162.5 Million回。乗客、4.5%増加、3.3 Million回。乗客。Km、4%増加、鉄道客輸送は11 Million回。乗客、26%減少、4.1 Billion回－乗客。Km、7.9%減少、航空客輸送は11 Million回。乗客、4.2%増加、16.5 Billion回。乗客。Km、1%減少、

2009年の荷物輸送は640.3 Millionトン、4.1%増加、184.5 Billionトン。Km、2008年と比較して8.6%増加、内陸輸送を含めて612.8 Millionトン、5.6%増加、63.9 Billionトン。km、5.3%増加した。海外輸送：27.5 Millionトン、2.5%減少、102.5 Billionトン。km、9.6%増加した。道路荷物輸送は約470 Millionトン、5.2%増加、23.3 Millionトン。Km、2%増加、海上輸送：45Millionトン、1%増加、138.1 Millionトン。Km、10%増加；鉄道：8.1 Millionトン、4.9%減少、38 Billionトン。Km、8.8%減少した。

郵政と通信

2009年の新規の電話加入者は概算で41.7million、2008年に比べて40.8%増加、（固定電話の4Millionと携帯電話の37.7Millionを含む）。12月2009年末現在、全国の加入者数は123 Millionで、前年同期と比較すると51%増加した。（固定電話18.1 Millionと携帯電話の104.9 Millionを含む）。郵政・通信集団は大きいシェアを持ち、（56%）、68.5 Millionの加入者電話があり、そのうち11.6 Millionの固定電話と携帯電話の56.9 Millionです。次に軍隊テレコム会社は31%のシェアを持ち、37 Million加入者電話がある。

2. 投資発展

• 社会投資

経済衰退を抑制し、社会保障を確保する優先目標で、2009年に政府が投資と消費の刺激パッケージの実現に集中した。同時に投資効率を改善し、経済成長を促進するため、重要なプロジェクトと提案実施進度を早期に指導した。その結果、2009年の実現した全社会投資資本金は実際の価格で704.2千兆ドンで、2008年と比較して15.3%の増加、GDPは42.8%となった。

具体的には：

政府系セクター 245千兆ドン、総資本の34.8%を占める。

非政府系セクター：278千兆ドン、39.5%を占める。

外国直接投資エリア181.2千兆ドン、25.7%を占める。

世界経済危機の影響のために2009年の外国直接投資誘致が低かった。直接投資は2009年12月15日現在、外国直接投資が21.5 Billion USDに達し、2008年同時期と比べ、70%減少した。中には新規許可された839プロジェクトの登記資本金が16.3Billion USD（プロジェクト数が46.1%と資本金が75.4%減少、前の各年に許可された215のプロジェクトの追加登記資本金は5.1BillionUSD、1.7%減少した。

不動産エリアは一番多く外国の投資者の注目を浴びて、2009年に新規の許可された登記資本金の7.4 Billion USDがあり、新規の総登記資本金の45.1%を占める。次に、宿泊サービスと飲食のエリアは4.9 Billion USDで30%を占め、加工工業、製造は2.2 Billion USDで13.8%を占める。

2009年に新規プロジェクトが許可された39国家と領土があり、内訳、大きな投資者はアメリカ、5.9 BillionUSDの新規登記資本金、全登記資本金の36.4%を占め、カイマン諸島が2 Billion USD、12.3%、サモア：1.7Billion USD、10.4%、韓国：1.6 BillionUSD、9.8%を占める。2009年の追加登記資本金を増やした国家、領土の中、アメリカはトップをとって3.9 Billion USDで、全体の追加録資本の75%を占める。

ホーチミン市は外国投資が最高の地方で、29.2 Billion で、17.8%を占め、次にハノイは20.2 Billion USDで、12.3%を占め、それから、バリアーブンタオ、ドンナイの順番に16.8 Billion USDと14.7 Billion USD、7.9%と9%を占める。最高

が外国投資を誘致した10省の中にはビンズオン、ニントゥアン、ハティン、タインホア、フーイエン、クァンガイもある。

2009年において、43省、市は新規ライセンスのプロジェクトがありそのうち、クアンナム省は登記資本のトップをとって、4.2 Billion USDで25.4%を占め；Ba Ria- Vung Tauは2.9 Billion USDで17.5%を占め；ドンナイ（Dong Nai）は2.3億USDで14.1%を占める；ビンズオンは2.2 Billion USD、13.2%占め；フーイエンは1.7 Billion USDで10.3%を占める。

証券市場がまだ発展しない時にベトナムに主に流れてきた資本はFDIの形態です。この資本金はベトナム経済成長を促進した大切な動力を証明した。

間接投資

FDIと同時に、間接投資資本金はベトナムにかなり早めに出現した。管理資本の700億USDの8の投資基金は20世紀の初90年代にベトナムに進出したが出資チャンスの検索の困難にあって、また、1997年の金融危機の影響でこの資本をベトナム以外に移動した

活発なベトナム証券市場は特に2006年末と2007年の初年、国際金融投資界から関心と呼んだ。Emerging Portfolio Fund Research Global (EPFR)の統計より、現在、ベトナムに基金の規模を投資基金の10 Billion USD以上を譲る最低25基金がある。世界金融危機はまだベトナム経済に影響を与えているが、多くの投資基金は、ベトナムのような安定性、成長率の高い経済に出資すると考えられている。

3. 商品輸出入

• 商品輸出

世界市場の購買力が縮小されて商品の価格が激しく減少したため、2009年の最初の9ヶ月の輸出金額が41.4 Billion USDにとどまり、前年同期と比べ14.8%減少した。

第4四半期の輸出の高い増加により、全2009年の商品輸出金額が約56.6 Billion USDに達し、2008年と比べ9.7%減少した。

ほとんどの商品輸出货量と金額が減少し、米、コーヒー、石炭の量が増加したが、金額が減少したことはこれらの商品の価格の低下を表している。具体的には2009

年の 織物縫製輸出額が約 9 Billion USD、去年と比べ 1.3% 減少、原油：6.2 Billion USD（量的に 2.4%、金額的には 40%も減少）、水産物が 4.2 Billion USD、6.7%減少、靴、サンダル：4 Billion USD、15.8%減少、米：2.7 Billion USD（量は 25.4%増加したが金額は 8%減少した）、木材と木材製品：2.6 Billion USD、9.9% 減少、コーヒー：1.7 Billion USD（量は 10.2%増加したが、額は 19%減少した）、石炭が 1.3 Billion USD（量は 29.9%増加、額は 4.5%減少した）。

2009 年に主な商品の輸出市場は、次のとおり。アメリカへの織物縫製輸出品は 4.9 Billion USD を達成、2008 年に比べて 3%減少、次に EU：1.7 億 Billion USD、3.1%減少、日本：930 Million USD、12% 増加した。原油の主な市場はまだオーストラリア：1.5 Billion USD で、55% 減少、シンガポールは 1 Billion USD、37% 減少、マレーシア：780 Million USD、8% 減少；アメリカ：430 Million USD、57% 減少、中国：420 Million USD、30% 減少した。2009 年の主なパートナーに水産物輸出金額は減少し、EU が 11 Billion USD に達したが、5.7%減少、アメリカ：710 Million USD で、3.9%減少、日本は 760 Million USD で、8.4%減少した。2009 年の EU への靴サンダル物輸出品は約 1.9 Billion USD に達し、23.2%減少；アメリカ：1 Billion USD、2%減少；日本は 120 Million USD、10.5%減少した。

2009 年に、ベトナムの商品輸出の 7 の主な市場は全国の輸出総額の 80%近くを占め、アメリカ市場は約 11.2 Billion USD に達し、2008 年に 5.5%減少、EU：9.3 Billion USD、14.4%減少、ASEAN は 8.5 Billion USD、16.4%減少；日本：6.2 Billion USD、27.7%減少；中国は 4.8 Billion USD、4.9%増加；韓国は 2.5 Billion USD、15%増加、オーストラリア：2.2 Billion USD、48%減少（主に原油価格の下落したから）。特に、アフリカ市場は金額的に約 1.1 Billion USD に達したが、2008 年と比べて 8 倍増加した。

• 商品輸入

輸出金額と同じのように、今年の 8 ヶ月間の商品輸入金額は約 41.8 Billion USD に達し、前年同期と比べて 29%減少した。ただし、年末の数ヶ月間に、世界経済が回復したことがあったためいくつかの商品の価格が上がった；一方、国内経済成長

率は増加に達して、生活や生産活動などの必要な商品の需要も増加するとともに、9、10、11、12月の輸入金額は前年同期と比較して、継続的に増加し、成長率の順番は：13.9%、14.5%、44.5%、15.7%です。したがって、2009年の全体の商品輸入金額は約68.8 Billion USDに達し、2008年に比べて14.7%減少した、そのうち、国内経済エリア：43.9 Billion USD、16.8%減少、外国投資エリア：24.9 Billion USD、10.8%減少した。

今年の生産活動用の原燃料の輸入金額は2008年に比べるとほとんど減少し、その中でガソリンは6.2 Billion USDに達し、43.8%減少、鉄鋼：5.3 Billion USD、22.9%減、生地：4.2 Billion USD、5.2%減、プラスチック：2.8 Billion USD、4.1%減、織物、縫製、靴、サンダル用の資材：1.9 Billion USD、17.8%減、飼料とその原料：1.7 Billion USD、1.4%減少した。しかし、前年と比べて輸入金額は増加した次の商品がある：電子部品とコンピューター部品は3.9 Billion USDに達し、5.9%増加、自動車は2.9 Billion USD、2.5%増加、その中、完成車：1.2 Billion USD、価値上の12.6%増加と量の49.4%増加。

2009年に輸入品目の中では、機械、設備、部品は商品輸入額の29.5%占め、原燃料物資は61.3%、消費財は8.7%、金は0.5%を占めた。

8つの主な輸入パートナーは2009年の輸入総額の85%を占めている。

商品の輸入金額の減少が輸出金額の減少よりスピードが速いですが2009年の商品の入超は12.2 Billion USDを概算し、2008年に比べて32.1%減少したが、2009年の全体の商品輸出金額の21.6%となった。

● サービス業の輸出入

2009年のサービス輸出の金額は約5766 Million USDを概算し、2008年と比べて18.1%減少、その中で：

旅行サービスは3050 Million USDに達し、22.4%減少、輸送サービスは2062 Million USD、12.5%減少しました。

今年の全体のサービスの入超額は1071 Million USD、2008年に比べて17%増加した。

4. 高いインフレの防止の結果

高いインフレが戻るのを積極的に防止すると生産経営の回復、特に国内市場の開発に集中するために、今年の前月から政府と各レベル、部門は強力的に各装置を展開し、財政、金融を積極的に指導した結果、2009年のインフレ率は高くなかった。

- 2009年の消費者物価がかなり安定し、1%以上増加した2月と12月以外、残りの月の消費者物価指数が低く増加したため、2009年12月の消費者物価指数は2008年と比べて6.52%増え、議会在提出した10%以下の指標よりかなり低い。
- 2009年に平均消費者物価指数は6.88%増え、最近の6年間で最低指数である。(2004年の平均消費者物価指数は7.71%増加、2005年：8.29%増加、2006年：7.48%増加、2007：8.3%増加、2008年：22.97%増加)
- 2009年12月の金(Gold)価格指数は前月と比較して10.49%増加、2008年同期と比較で64.32%増加した。これは、かなり高い増加レベル、年中、金価格の連続的に変動したのは、社会経済の多くの面に影響を与えた。
- 2009年12月の米ドル価格指数は前月比3,19%増加し、2008年同期と比べ10.7%増加した。世界的な財政危機の背景にも、わが国の経済成長が相対的に高く達したと同時にあまり高くないインフレを維持することができたのは私たちのマクロ経済の指導と管理の賜物である。

概要: 2009年のベトナム経済状況は下記の5つのポイントが見られる。

- **1番:** 2009年の経済成長率が5.32%で、2008年の6.18%の成長率より低かった。世界的な経済衰退背景に多くの経済成長率は低い、相対的に高いプラス経済成長率に達したのはベトナムにとって大成功である。
- **2番:** 成長構造が実際の維持ではなく、成長率は主にサービス業、工業、建設などのエリアに頼る。農業エリアは自然災害と疫病の影響の下、生産量が低く、さらに、輸出の商品の価格が削減し、財政危機の影響で、購買力が減なく、経済成長への寄与は低かった。
- **3番:** 世界的な財政危機の影響を受けても、2008年の外国投資の増加は続けている。これは、ベトナムの経済発展に対する外国投資家の評価が高いことを証明する。
- **4番:** ベトナムの輸出品は主に農水産物、織物、縫製、または鉱産物。そのため、製品よりこれらの商品の輸出は効果的に高くないし利益も高くない。

- **5番：** ベトナムの財政、金融通貨のシステムは続けて安定している。2008年の消費物価指数が22.97%までも増加したが、2009年は6.88%の増加に止まって、最近の6年間の中で最低のレベルです。それは政府の柔軟性と、中央銀行の金融通貨政策の柔軟運営の効果を証明した。

II. ベトナムの投資展望

1. 投資発展への前提

- **自然条件：** ベトナムは、自然の潜在可能性がある国家です。ベトナムの海岸の長さは3260キロで、陸上国境の長さは4510キロで、インド洋から太平洋にかけての交通の重要なかなめです。また、森林、水産物、観光素材及び多様な種類の鉱物などの豊富な資源がある国である。
- **政治条件：** ベトナムは政治システムの安定している国家である。ベトナム共産党と政府は国際経済に合流するため、オープン政策を一貫している。2006年11月にWTOの正式のメンバーと認められたのち、ベトナムはWTO組織とのコミットメントを確保するため、改革政策を実施している。現在、各地域は工業団地建設を通して、国内と海外の投資家に好況の条件を提供している。
- **社会条件：** ベトナムは人口が多い国で（2009年4月現在85.7 Million人）、潜在的な労働力と商品消費の大きな購買市場である。さらに、ベトナム人は労働に誠実な人柄がある。

2. ベトナムへのいくつかの投資チャンス

上記のように、ベトナム輸出品は主に農産物や鉱産物の粗い製品です。そのため、生産量が高くても、加工しないと輸出価格を上げられない。一方に、農産物加工と保管システムが整備されていないので、豊作しても、価格が安くて損する。したがって、ベトナムは農産物加工と保管工場などを建設する必要がある。

+ 食料、コーヒー、ゴム、カシューナットなどの加工工場、保管システム

+ 水産物の加工工場、保管システム

+ 鉱産物の開拓

+ 冶金工場など

ベトナムの工業製品は多くの分野でまだ旧式したままです。ベトナムは海外から多くの工業製品を輸入している（2009年に機械、設備、パーツなどを輸入し、総輸入額の25%を占めた）。これらの製品はもし国内で生産できれば、ベトナム市場のニーズを満たすばかりではなく、賃金の安いと運転費を活用できる。下記の分野への投資チャンスがある。

+ 農業用の機械、設備製造工場

+ 工業用の機械設備の製造工場

+ 消費財製造工場

IT産業、電子製品もベトナムが投資誘致したい分野です。2009年に3.9 Billion USDの金額が輸入され、5.7%の輸入の総額を占めた。現在、ベトナムはIT産業、自動化などに対する投資を注目している。

+ コンピューター用の部品、携帯電話の部品また、それらの製品の完成品の製造工場。

+ 自動化のライン、技術などの工場

ベトナムのインフラストラクチャーはまだ低くて、人口の増加するとともに住宅需要や通行需要の増加を誘発するから道路、住宅、豪華な別荘、レストラン、ホテルの建設などの不動産投資する必要も高まります。